

# 結果の概要

## 1 概況

### 人口の伸びはゆるやかに

平成 17 年 10 月 1 日現在の仙台市の総人口は 102 万 5098 人で 5 年前の前回調査に比べ 1 万 6968 人増加し、増加率は 1.7%となっています。世帯数は 43 万 9579 世帯で前回に比べ 1 万 8397 世帯増加し、増加率は 4.4%となっています。

人口密度は前回の 1 平方キロメートル当たり 1286.6 人から 21.7 人増加して 1,308.3 人となりました。

## 2 人口の推移

### 人口増加率は昭和 50 年をピークに減少が続く

仙台市の人口は、大正 9 年の第 1 回国勢調査以来増加を続けています。特に昭和 30 年から昭和 50 年までは、増加率が前回を上回り続け、昭和 50 年には 18.4%と最も高くなりました。以降増加率は前回を下回り続け、今回は 1.7%となりました。

図 1 人口及び人口増加率の推移(組替)

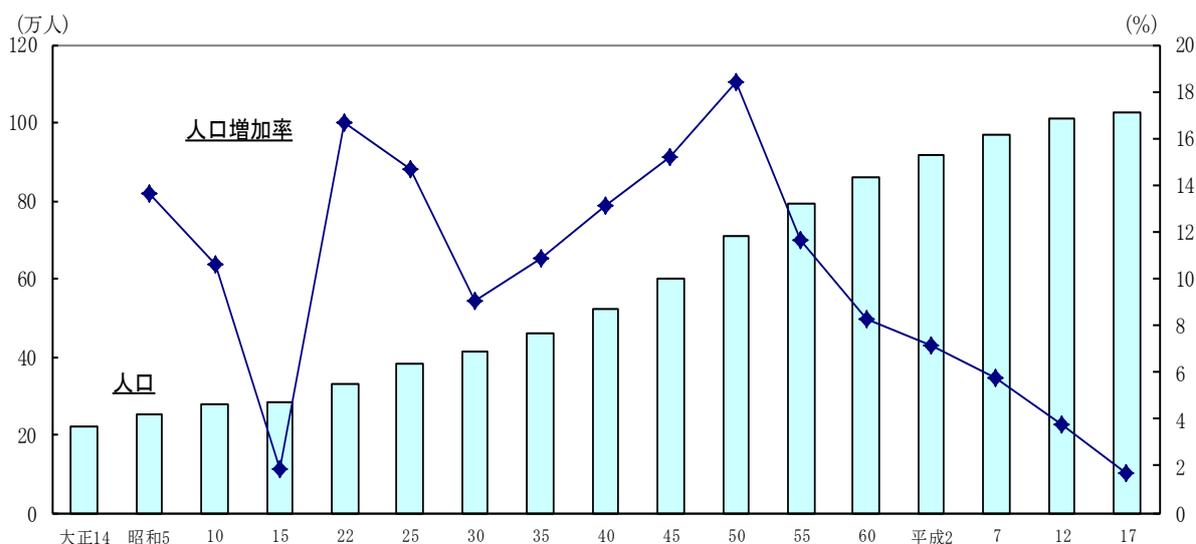


表 1 国勢調査による人口の推移(組替)

年次	人口			世帯数	対前回国勢調査				性比(女=100)	1世帯当たり人員
	総数	男	女		人口		世帯数			
					増加数	増加率	増加数	増加率		
昭和 30年	414,775	204,534	210,241	84,790	-	-	-	-	97.3	4.89
35	459,876	227,201	232,675	108,644	45,101	10.9	23,854	28.1	97.6	4.23
40	520,059	256,965	263,094	137,205	60,183	13.1	28,561	26.3	97.7	3.79
45	598,950	296,898	302,052	176,348	78,891	15.2	39,143	28.5	98.3	3.40
50	709,326	351,623	357,703	225,854	110,376	18.4	49,506	28.1	98.3	3.14
55	792,036	393,642	398,394	273,142	82,710	11.7	47,288	20.9	98.8	2.90
60	857,335	425,984	431,351	300,713	65,299	8.2	27,571	10.1	98.8	2.85
平成 2年	918,398	454,954	463,444	340,904	61,063	7.1	40,191	13.4	98.2	2.69
7	971,297	480,684	490,613	387,292	52,899	5.8	46,388	13.6	98.0	2.51
12	1,008,130	496,270	511,860	421,182	36,833	3.8	33,890	8.8	97.0	2.39
17	1,025,098	500,597	524,501	439,579	16,968	1.7	18,397	4.4	95.4	2.33

### 人口集中地区の人口は 90 万 5139 人、総人口の 88.3%を占める

実質的な都市地域を表す「人口集中地区」における本市の人口は 90 万 5139 人で、面積は 130.2k m<sup>2</sup>となっています。総人口に占める割合は前回より 0.2 ポイント下降し 88.3%、総面積に占める割合は前回同様の 16.6%となっています。また、人口密度は1平方キロメートル当たり 6951.9 人で、昭和 45 年以降減少が続いていましたが前回に続き今回も増加しました。

表2 人口集中地区人口、面積及び人口密度の推移（組替）

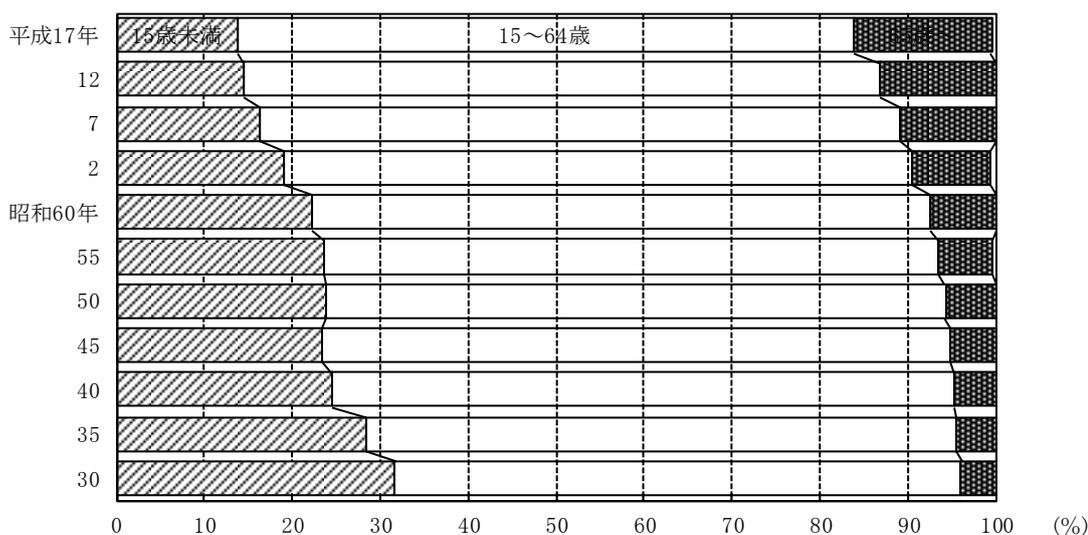
年次	人 口			面 積			人 口 密 度	
	人口集中地区	市全域	全域に対する人口集中地区の割合	人口集中地区	市全域	全域に対する人口集中地区の割合	人口集中地区	市全域
	人	人	%	km <sup>2</sup>	km <sup>2</sup>	%	人/km <sup>2</sup>	人/km <sup>2</sup>
昭和 40 年	373,524	520,059	71.8	35.0	787.84	4.4	10,672.1	660.1
45	454,269	598,950	75.8	53.0	787.84	6.7	8,571.1	760.2
50	581,158	709,326	81.9	76.7	788.09	9.7	7,577.0	900.1
55	648,992	792,036	81.9	86.5	788.03	11.0	7,502.8	1,005.1
60	723,200	857,335	84.4	102.9	788.03	13.1	7,028.2	1,087.9
平成 2 年	774,143	918,398	84.3	113.3	783.57	14.5	6,832.7	1,172.1
7	844,783	971,297	87.0	123.8	783.50	15.8	6,823.2	1,239.7
12	892,252	1,008,130	88.5	129.7	783.54	16.6	6,879.9	1,286.6
17	905,139	1,025,098	88.3	130.2	783.54	16.6	6,951.9	1,308.3

### 3 人口の年齢別構成

#### 年少人口は減少、老年人口は大幅増加

仙台市の総人口を年齢3区別にみると、15歳未満の年少人口は14万51人、15～64歳の生産年齢人口は71万8314人、65歳以上の老年人口は16万1795人で、総人口に占める割合はそれぞれ13.7%、70.1%、15.8%となっています。前回調査に対する増減率をみると、年少人口が4.6%、生産年齢人口が1.3%減少し、老年人口が21.6%の増加となりました。

図2 年齢3区分別人口構成の推移（組替）



### 5歳階級別では20～24歳の減少数が最も多い

年齢を5歳階級別に前回と比較すると、29歳以下と45～54歳で減少となり、30～44歳及び55歳以上では増加となりました。

前回との比較で減少数が多いのは、20～24歳で1万3690人、次いで25～29歳で1万1686人、15～19歳で1万58人などとなっています。また、増加数が多いのは、55～59歳で1万3918人、次いで30～34歳で1万726人、70～74歳で8049人などとなっています。

表3 年齢（5歳階級）別人口の推移（組替）

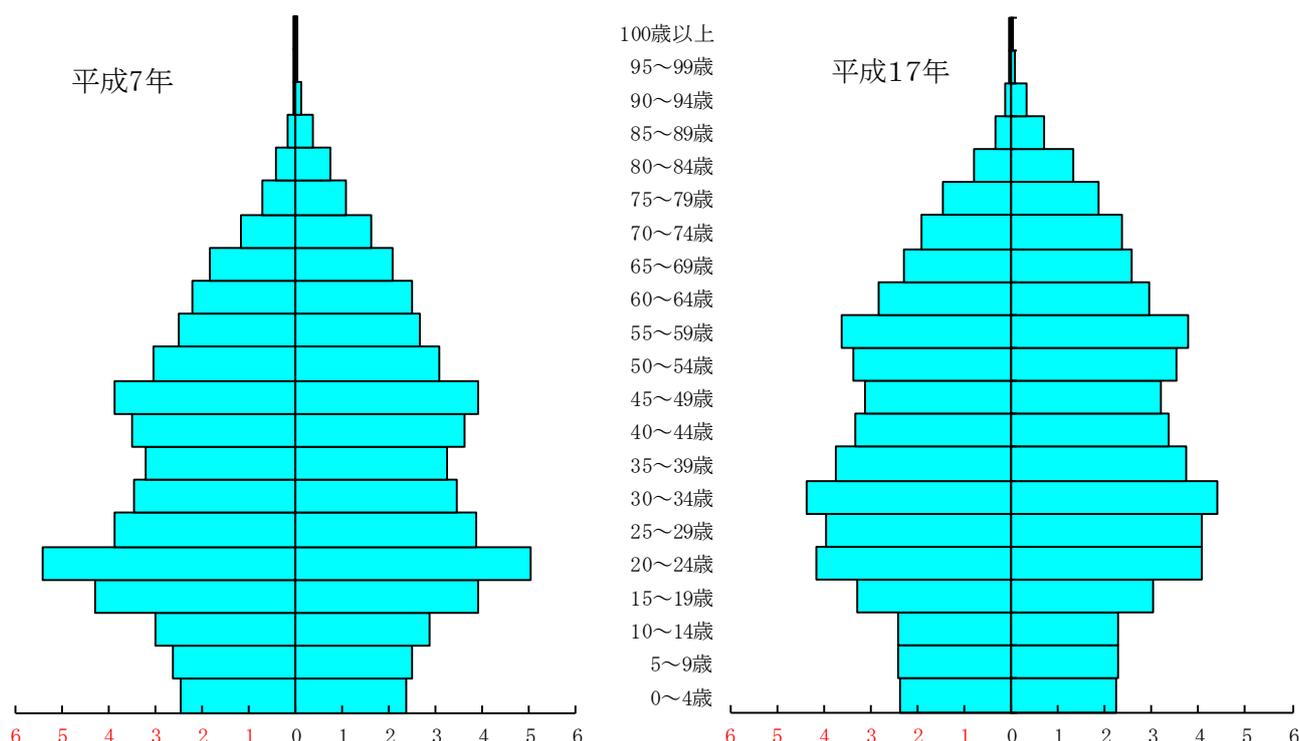
年齢階級	昭和55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	平成12年～17年	
							増減数	増減率(%)
総数	792,036	857,335	918,398	971,297	1,008,130	1,025,098	16,968	1.7
0～4歳	62,680	58,748	52,346	48,412	48,383	46,056	△ 2,327	△ 4.8
5～9	67,355	63,347	58,802	51,576	47,250	47,126	△ 124	△ 0.3
10～14	57,233	68,261	63,991	58,426	51,192	46,869	△ 4,323	△ 8.4
15～19	63,346	70,713	85,104	81,858	73,140	63,082	△ 10,058	△ 13.8
20～24	73,946	78,940	86,810	104,447	96,130	82,440	△ 13,690	△ 14.2
25～29	70,912	64,806	67,326	77,541	91,860	80,174	△ 11,686	△ 12.7
30～34	77,464	71,533	64,825	69,074	76,745	87,471	10,726	14.0
35～39	63,199	77,926	70,998	64,540	67,886	74,677	6,791	10.0
40～44	54,890	62,921	77,840	71,452	64,875	66,666	1,791	2.8
45～49	50,531	54,008	61,914	77,789	71,049	63,354	△ 7,695	△ 10.8
50～54	42,522	49,104	52,516	61,317	75,937	69,145	△ 6,792	△ 8.9
55～59	32,581	41,796	48,155	51,820	59,663	73,581	13,918	23.3
60～64	23,715	31,758	41,048	47,008	50,498	57,724	7,226	14.3
65～69	19,714	22,639	30,093	39,268	45,287	48,626	3,339	7.4
70～74	14,620	17,974	20,935	28,096	36,559	42,647	6,088	16.7
75～79	9,129	12,163	15,378	18,109	25,203	33,252	8,049	31.9
80～84	4,469	6,467	9,053	11,642	14,575	21,060	6,485	44.5
85～89	1,702	2,432	3,783	5,643	7,908	10,503	2,595	32.8
90～94	418	659	1,010	1,644	2,895	4,457	1,562	54.0
95～99	63	80	169	284	542	1,115	573	105.7
100歳以上	6	11	12	25	51	84	33	64.7
年齢不詳	1,541	1,049	6,290	1,326	502	4,938	-	-
(再掲)								
15歳未満	187,268	190,356	175,139	158,414	146,825	140,051	△ 6,774	△ 4.6
15～64歳	553,106	603,505	656,536	706,846	727,783	718,314	△ 9,469	△ 1.3
65歳以上	50,121	62,425	80,433	104,711	133,020	161,795	28,775	21.6
65～74歳	34,334	40,613	51,028	67,364	81,846	91,237	9,391	11.5
75歳以上	15,787	21,812	29,405	37,347	51,174	70,522	19,348	37.8
年齢別割合(%)								
15歳未満	23.6	22.2	19.1	16.3	14.6	13.7	-	-
15～64歳	69.8	70.4	71.5	72.8	72.2	70.1	-	-
65歳以上	6.3	7.3	8.8	10.8	13.2	15.8	-	-
65～74歳	4.3	4.7	5.6	6.9	8.1	8.9	-	-
75歳以上	2	2.5	3.2	3.8	5.1	6.9	-	-

## 人口ピラミッドは張り出しが少なく、より縦長に

人口ピラミッドを10年前と比較すると、全体的には張り出しが少なくなり、ピークが2つあるひょうたん形をしています。

ピークは20代前半から30代前半に移っています。平成7年は15～19歳がそれに次いで多かったのに対し、平成17年は20～24歳が多くなっています。第2のピークも40代後半から50代後半に移っています。また、14歳以下では、減少傾向はなくなり寸胴形になっています。

図3 人口ピラミッド



## 4 世帯の状況

### 世帯規模の縮小が引き続き進行

世帯総数 43 万 9579 世帯のうち、長期入院患者や社会施設の入居者など「施設等の世帯」を除いた「一般世帯」は、43 万 4539 世帯で、世帯総数の 98.9%となっています。一般世帯の世帯人員は 100 万 2678 人で、総人口の 97.8%を占めています。

一般世帯の1世帯当たり人員は2.31人で、前回の2.36人と比べ0.05人減少し、世帯規模は更に縮小しています。世帯人員別一般世帯数を前回と比較すると、2人の世帯が13.1%と最も増加率が高く、1人及び3人の世帯についても増加傾向にあります。4人以上の世帯については世帯数も世帯総数に占める構成比も全て減少しています。

表4 世帯の種類別世帯数及び世帯人員(組替)

年次	総数		一般世帯			施設等の世帯	
	世帯数	世帯人員 =総人口	世帯数	世帯人員	1世帯当 り人員	世帯数	世帯人員
昭和60年	300,713	875,335	299,301	842,255	2.81	541	14,031
平成2年	340,904	918,398	334,834	896,609	2.68	478	15,512
7	387,292	971,297	385,659	954,776	2.48	412	15,195
12	421,182	1,008,130	420,368	991,664	2.36	446	15,964
17	439,579	1,025,098	434,539	1,002,678	2.31	567	17,482

\*総数に世帯の種類不詳を含む

図4 世帯人員別一般世帯数の推移

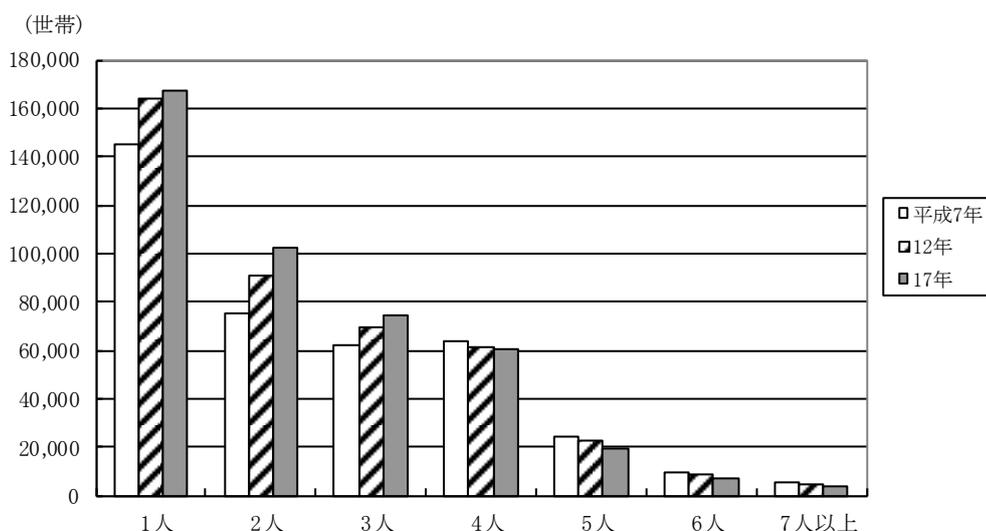


表5 世帯人員別一般世帯数(組替)

区分	一般世帯数					増減数				増減率
	昭和60年	平成2年	7年	12年	17年	60~2年	2~7年	7~12年	12~17年	12~17年
総数	299,301	334,834	385,659	420,368	434,539	35,533	50,825	34,709	14,171	3.4
1人	91,267	111,141	145,356	164,095	167,269	19,874	34,215	18,739	3,174	1.9
2人	48,581	59,642	75,179	90,441	102,305	11,061	15,537	15,262	11,864	13.1
3人	49,724	54,959	62,099	69,438	74,290	5,235	7,140	7,339	4,852	7.0
4人	67,215	67,304	63,656	61,531	60,437	89	△ 3,648	△ 2,125	△ 1,094	△ 1.8
5人	26,791	25,821	24,639	22,307	19,643	△ 970	△ 1,182	△ 2,332	△ 2,664	△ 11.9
6人	10,283	10,554	9,692	8,401	7,237	271	△ 862	△ 1,291	△ 1,164	△ 13.9
7人~	5,440	5,413	5,038	4,155	3,358	△ 27	△ 375	△ 883	△ 797	△ 19.2

## 5 家族類型別一般世帯数

### 夫婦のみの世帯は増加傾向、単独世帯は全体の38.5%を占める

一般世帯43万4539世帯を家族類型別にみると、「核家族世帯」は22万6777世帯で前回より1万657世帯(4.9%)増加しています。そのうち最も多いのは「夫婦と子供」の世帯で11万9764世帯ですが、前回よりは1000世帯(0.8%)減少しています。一方、「夫婦のみ」の世帯は前回より7152世帯(10.7%)、「男親と子供」「女親と子供」の世帯はそれぞれ624世帯(17.6%)、3881世帯(15.6%)の増加となっています。

「単独世帯」は16万7269世帯で、前回より3174世帯(1.9%)増加し、総数の38.5%を占めています。

図5 家族類型別一般世帯数の推移

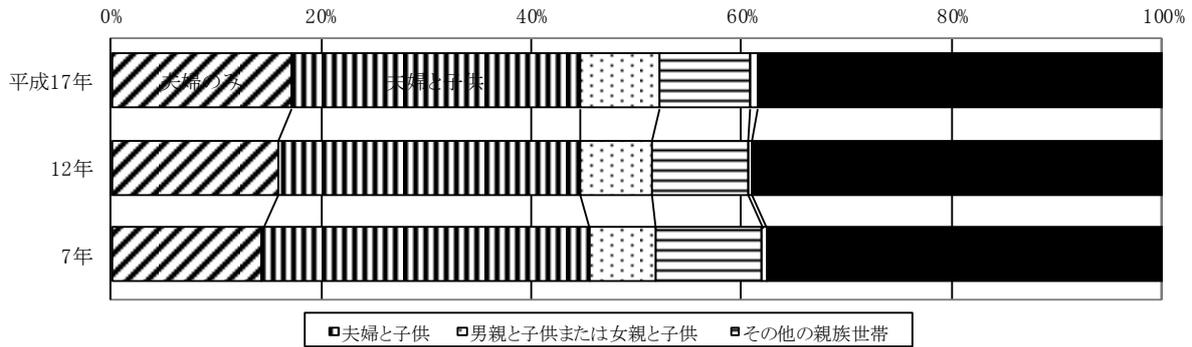


表6 家族類型別一般世帯数

家族類型	一般世帯数			構成比(%)			増加率(%)	
	平成7年	12年	17年	平成7年	12年	17年	7~12年	12~17年
総数	385,659	420,368	434,539	100.0	100.0	100.0	9.0	3.4
親族世帯	238,774	254,359	264,082	61.9	60.5	60.8	6.5	3.8
核家族世帯	199,708	216,120	226,777	51.8	51.4	52.2	8.2	4.9
夫婦のみ	55,360	66,991	74,143	14.4	15.9	17.1	21.0	10.7
夫婦と子供	120,054	120,764	119,764	31.1	28.7	27.6	0.6	△ 0.8
男親と子供	3,038	3,536	4,160	0.8	0.8	1.0	16.4	17.6
女親と子供	21,256	24,829	28,710	5.5	5.9	6.6	16.8	15.6
その他の親族世帯	39,066	38,239	37,305	10.1	9.1	8.6	△ 2.1	△ 2.4
非親族世帯	1,529	1,914	3,188	0.4	0.5	0.7	25.2	66.6
単独世帯	145,356	164,095	167,269	37.7	39.0	38.5	12.9	1.9

年齢（5歳階級）別人口に占める「一般世帯のうちの単独世帯人員」の比率をみると、男女とも20代前半で最も高く、男が5割弱、女が4割弱を占めています。また、男は年齢とともに低くなる傾向がある一方、女は40代を底に再び上昇し、70代後半に2つ目のピークが表れています。

図6 年齢別単独世帯に属する者の割合

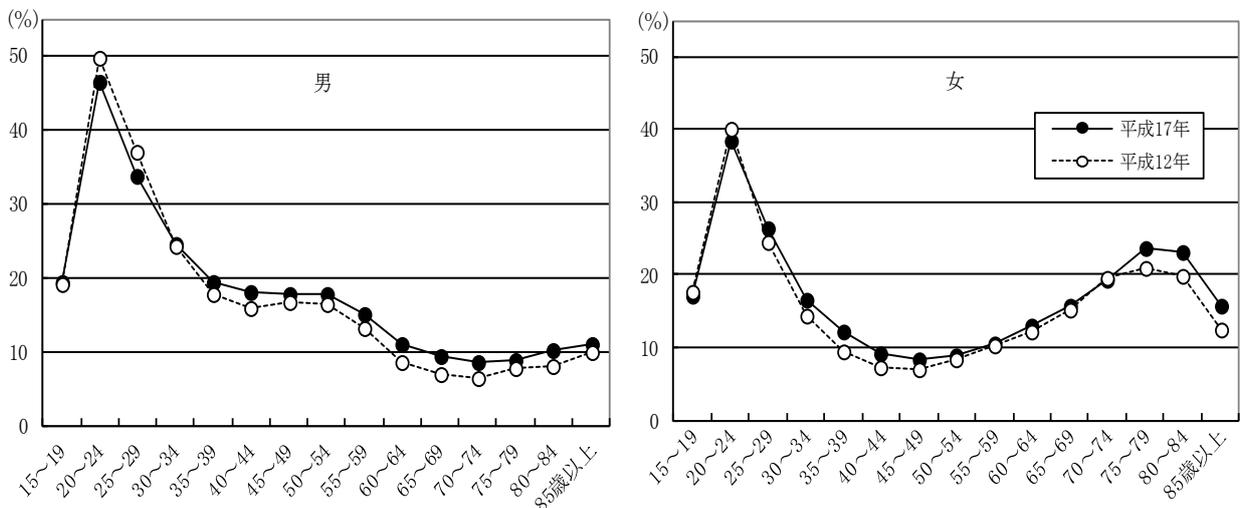


表7 年齢別単独世帯に属する者の割合

年齢階級	男				女			
	平成12年		平成17年		平成12年		平成17年	
	実数	比率(%)	実数	比率(%)	実数	比率(%)	実数	比率(%)
総数	91,165	18.4	89,195	17.8	72,930	14.2	78,074	14.9
～14歳	-	-	1	0.0	-	-	2	0.0
15～19	7,125	19.0	6,359	19.5	6,320	17.8	5,235	17.2
20～24	24,677	49.8	19,286	46.3	18,638	40.0	15,670	38.4
25～29	16,930	36.9	13,340	33.8	11,252	24.5	10,781	26.5
30～34	9,324	24.2	10,656	24.5	5,526	14.4	7,272	16.6
35～39	6,015	17.7	7,257	19.4	3,174	9.4	4,510	12.1
40～44	5,135	15.9	5,947	17.9	2,369	7.3	3,035	9.1
45～49	5,804	16.6	5,517	17.6	2,530	7.0	2,662	8.3
50～54	6,151	16.3	5,969	17.7	3,200	8.4	3,186	9.0
55～59	3,873	13.1	5,422	15.1	3,116	10.3	4,004	10.6
60～64	2,067	8.5	3,065	10.9	3,224	12.3	3,850	13.0
65～69	1,470	7.0	2,161	9.4	3,682	15.1	4,014	15.6
70～74	1,067	6.4	1,618	8.4	3,890	19.5	4,516	19.2
75～79	762	7.6	1,278	8.9	3,190	21.0	4,497	23.8
80～84	423	7.9	787	10.1	1,839	19.9	3,058	23.0
85歳以上	342	9.8	532	11.1	980	12.4	1,782	15.6

\*比率＝男女、年齢5歳階級別一般世帯のうちの単独世帯人員／当該年齢階級の男女別人口

## 6 配偶関係

### 未婚率はわずかに減少、有配偶率は横ばい

平成17年の15歳以上人口88万109人（男42万5844人、女45万4265人）を配偶関係別にみると、有配偶者は、男24万5321人、女24万6235人となり、男女別の15歳以上人口に占める割合（有配偶率）は、それぞれ57.6%、54.2%となっています。また、未婚者は男15万1143人、女13万3775人で、各15歳以上人口に占める割合（未婚率）は、男35.5%、女29.4%と、前回よりもわずかに低下しています。

表8 配偶関係別15歳以上人口

年齢階級	男					女				
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	総数	未婚	有配偶	死別	離別
総数	425,844	151,143	245,321	8,707	11,527	454,265	133,775	246,235	45,812	22,356
15～19歳	32,613	32,509	95	2	7	30,469	30,273	182	3	11
20～24	41,613	39,413	2,115	7	76	40,827	37,262	3,332	8	211
25～29	39,447	27,759	11,308	7	367	40,727	25,168	14,668	20	812
30～34	43,560	20,110	22,664	24	751	43,911	15,533	26,609	68	1,613
35～39	37,392	10,294	23,909	37	1,099	37,285	7,580	26,333	161	2,077
40～44	33,184	6,640	23,839	88	1,176	33,482	4,511	25,448	310	2,449
45～49	31,258	4,920	23,822	174	1,266	32,096	3,161	25,226	603	2,511
50～54	33,692	4,146	26,450	349	1,582	35,453	2,528	28,147	1,218	2,988
55～59	35,928	2,801	29,579	582	1,861	37,653	2,306	29,136	2,319	3,233
60～64	28,107	1,293	23,899	840	1,444	29,617	1,456	22,114	3,329	2,274
65～69	22,938	686	19,749	1,014	992	25,688	1,149	17,778	4,793	1,556
70～74	19,183	336	16,579	1,346	525	23,464	1,089	14,177	6,790	1,037
75～79	14,361	163	12,081	1,504	245	18,891	926	8,433	8,290	800
80～84	7,777	52	6,120	1,279	90	13,283	508	3,609	8,399	489
85～89	3,347	14	2,334	854	35	7,156	245	873	5,654	212
90～94	1,180	6	679	446	9	3,277	63	154	2,925	69
95～99	240	1	94	135	2	875	15	16	818	13
100歳以上	24	-	5	19	-	111	2	-	104	1
平成17年 構成比(%)	100.0	35.5	57.6	2.0	2.7	100.0	29.4	54.2	10.1	4.9

\*総数に配偶関係「不詳」を含む

### 20代～40代で男女ともに未婚率が増加

年齢階級別に未婚率の推移をみると、20代前半から40代後半までの未婚率は男女ともにい

いずれも前回は上回っており、特に30代前半は男が前回より4.2ポイント上昇して46.2%に、女が5.4ポイント上昇して35.4%となりました。

図7 年齢階級別未婚率の推移(組替)

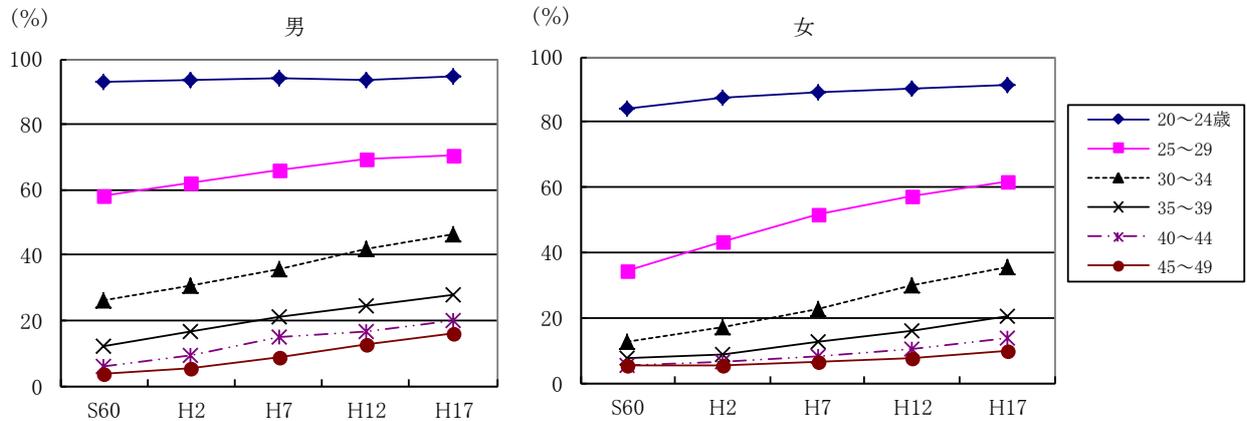


表9 年齢階級別未婚率の推移(組替)

単位：％

年齢階級	男					女				
	昭和60年	平成2年	7年	12年	17年	昭和60年	平成2年	7年	12年	17年
20～24歳	93.1	93.6	93.9	93.8	94.7	83.8	87.7	89.1	90.3	91.3
25～29歳	57.9	62.0	65.8	69.2	70.4	34.3	43.4	51.4	57.0	61.8
30～34歳	26.0	30.6	35.9	42.0	46.2	12.4	16.8	22.6	30.0	35.4
35～39歳	11.8	16.6	21.3	24.2	27.5	7.8	8.8	12.3	15.9	20.3
40～44歳	5.7	9.1	14.7	16.8	20.0	5.5	6.7	7.9	10.6	13.5
45～49歳	3.5	5.1	8.7	12.9	15.7	5.3	5.1	6.6	7.3	9.8

## 7 高齢世帯

### 高齢単身者と高齢夫婦世帯の増加傾向が続く

一般世帯のうち、65歳以上の単独世帯(高齢単身者)は2万4243世帯で、前回に比べ6598世帯(37.4%)増加しており、特に75歳以上について増加率が高くなっています。

また、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみからなる世帯(高齢夫婦世帯)は2万9729世帯で、前回に比べ5442世帯(22.4%)の増加となっています。夫と妻がともに65歳以上の世帯は2万3812世帯で、前回に比べ5,107世帯(27.3%)の増加となっています。

表10 65歳以上の高齢単身者数

年齢別	平成12年			平成17年			増加率(%)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	17,645	4,064	13,581	24,243	6,376	17,867	37.4	56.9	31.6
65～69歳	5,152	1,470	3,682	6,175	2,161	4,014	19.9	47.0	9.0
70～74歳	4,957	1,067	3,890	6,134	1,618	4,516	23.7	51.6	16.1
75～79歳	3,952	762	3,190	5,775	1,278	4,497	46.1	67.7	41.0
80～84歳	2,262	423	1,839	3,845	787	3,058	70.0	86.1	66.3
85歳以上	1,322	342	980	2,314	532	1,782	75.0	55.6	81.8

図8 年齢別高齢単身者数

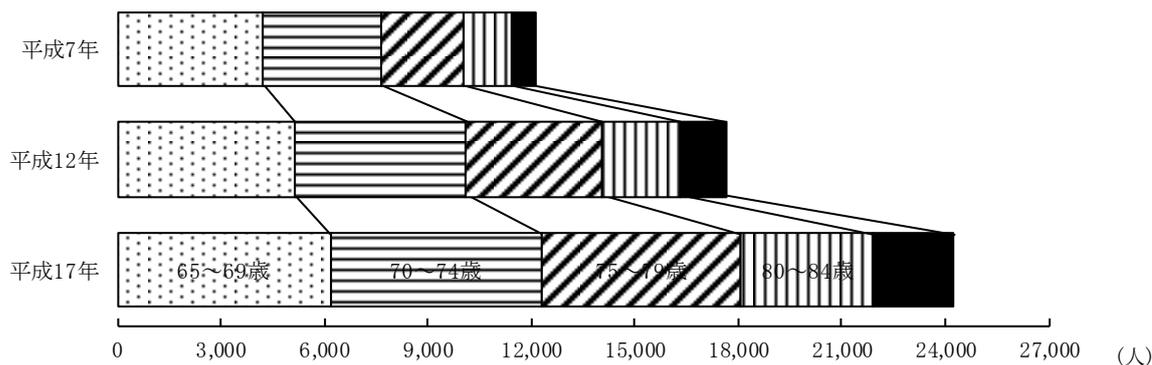


表 11 高齢夫婦世帯数

夫の年齢	平成12年		平成17年		増加率(%)	
	妻60～64歳	妻65歳以上	妻60～64歳	妻65歳以上	妻60～64歳	妻65歳以上
総数	5,582	18,705	5,917	23,812	6.0	27.3
65～69歳	4,497	4,013	4,793	4,116	6.6	2.6
70～74歳	953	7,120	979	8,154	2.7	14.5
75～79歳	103	4,476	112	6,836	8.7	52.7
80～84歳	21	2,104	29	3,235	38.1	53.8
85歳以上	8	992	4	1,471	△ 50.0	48.3

## 8 住宅

### 持ち家の割合は増加、民営の借家の割合は減少

住宅に住む一般世帯 42 万 8612 世帯を住宅の所有関係別にみると、「持ち家」は 20 万 9626 世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の 48.9%を占めており、次いで「民営の借家」が 17 万 8180 世帯(同 41.6%)で、この 2 つで住宅に住む一般世帯の 90.5%を占めています。「持ち家」は、前回に比べ 2 万 1150 世帯(11.2%)の増加となり、総数に占める割合も 3.2 ポイント上昇しました。

図 9 住宅に住む一般世帯数の割合 (平成 17 年)

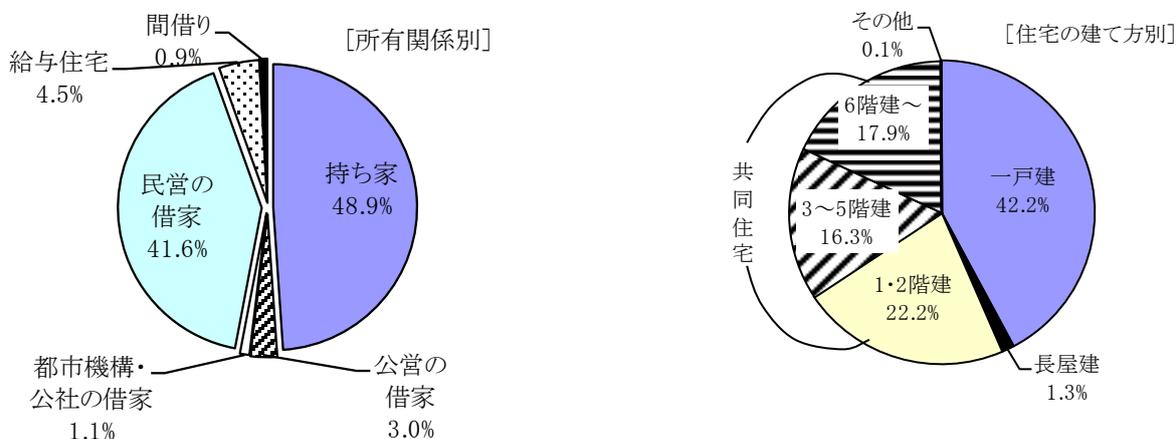


表 12 住宅に住む一般世帯の所有関係別状況の推移

年 別	総 数	持 ち 家	公営の借家	都市機構・ 公社の借家	民営の借家	給与住宅	間 借 り
		実		数			
平成7年	375,813	166,024	12,398	4,717	162,315	27,495	2,864
平成12年	412,488	188,476	13,164	4,726	177,565	25,020	3,537
平成17年	428,612	209,626	12,871	4,574	178,180	19,476	3,885
		構		成 比 (%)			
平成7年	100.0	44.2	3.3	1.3	43.2	7.3	0.8
平成12年	100.0	45.7	3.2	1.1	43.0	6.1	0.9
平成17年	100.0	48.9	3.0	1.1	41.6	4.5	0.9

### 1人当たり住宅の広さは拡大

1世帯当たりの延べ面積を住宅の所有関係別にみると、主世帯のうち最も広いのは「持ち家」で116.5㎡、次いで「給与住宅」が59.0㎡、「公営の借家」が52.8㎡、「都市機構・公社の借家」が42.8㎡、「民営の借家」が40.2㎡と続いています。「持ち家」は前回に比べ1.0㎡(0.9%)の減少となりました。また、1人当たり延べ面積はいずれの場合も前回より増加しており、「持ち家」では前回より2.1㎡(5.5%)増加して40.6㎡となっています。

表13 住宅に住む一般世帯の所有関係別状況

住宅の所有関係	世帯人員		1世帯当たり人員		1世帯当たり 延べ面積(㎡)		1人当たり 延べ面積(㎡)	
	平成12年	平成17年	平成12年	平成17年	平成12年	平成17年	平成12年	平成17年
総数	983,202	995,589	2.38	2.32	76.3	78.8	32.0	33.9
主世帯	976,340	988,176	2.39	2.33	76.5	79.1	32.1	34.0
持ち家	575,270	602,079	3.05	2.87	117.5	116.5	38.5	40.6
公営の借家	34,871	31,769	2.65	2.47	50.4	52.8	19.0	21.4
都市機構・公団の借家	11,237	10,241	2.38	2.24	42.9	42.8	18.1	19.1
民営の借家	293,577	296,660	1.65	1.66	38.6	40.2	23.3	24.1
給与住宅	61,385	47,427	2.45	2.44	57.5	59.0	23.4	24.2
間借り	6,862	7,413	1.94	1.91	44.9	42.2	23.1	22.1

### 6階建て以上の共同住宅に住む世帯が大きく増加

住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数をみると、「一戸建て」は前回に比べ3316世帯(1.9%)の増加となったものの、総数に占める割合は低下し42.2%となっています。一方、「共同住宅」は1万3106世帯(5.7%)増加し、総数に占める割合も56.4%と増加しました。「共同住宅」の中では「6階建以上」が前回に比べ1万5042世帯(24.4%)と大きく増加しました。

表14 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数の推移

年 別	総 数	一 戸 建	長 屋 建	共 同 住 宅				そ の 他
				総 数	1・2階建	3～5	6階建～	
		実		数				
平成7年	375,813	172,215	6,711	196,482	92,850	62,449	41,183	405
平成12年	412,488	177,479	5,986	228,526	96,995	69,777	61,754	497
平成17年	428,612	180,795	5,641	241,632	94,945	69,891	76,796	544
		構		成 比 (%)				
平成7年	100.0	45.8	1.8	52.3	24.7	16.6	11.0	0.1
平成12年	100.0	43.0	1.5	55.4	23.5	16.9	15.0	0.1
平成17年	100.0	42.2	1.3	56.4	22.2	16.3	17.9	0.1

### 9 区別の状況

人口・世帯数とも増加率が最も高いのは泉区

各区の主要指標について比較すると、人口は青葉区が28万1218人で最も多く、次いで太白区の22万2447人、泉区の20万8813人、宮城野区の18万2678人、若林区の12万9942人と続いています。前回に比べ全ての区で増加しており、増加率が最も高いのは泉区で4.2%、次いで宮城野区の2.2%、青葉区の1.3%、太白区の0.4%、若林区の0.2%と続いています。

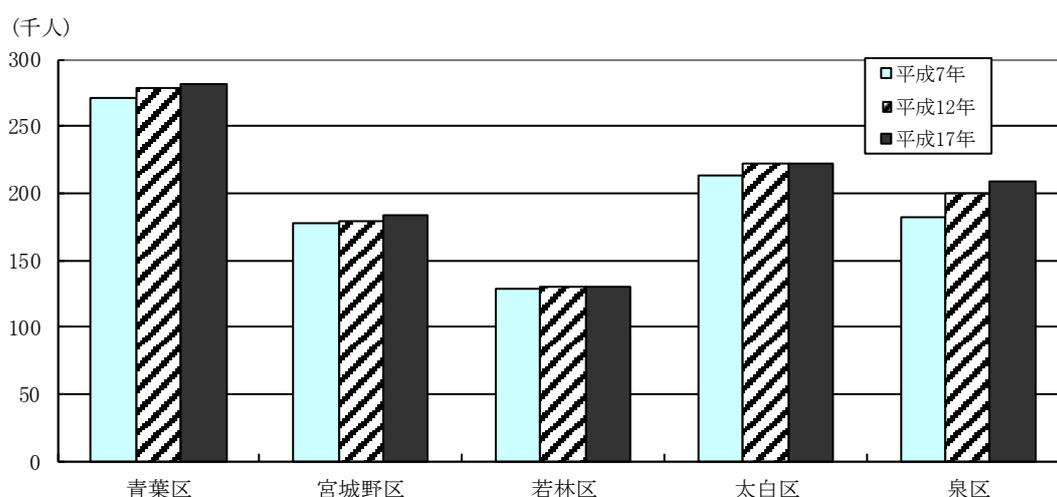
世帯数は青葉区が13万4878世帯で最も多く、次いで太白区の8万9944世帯、泉区の8万392世帯、宮城野区の7万9061世帯、若林区の5万5304世帯と続いています。増加率は前回に比べて、泉区が8.7%と最も高く、次いで宮城野区の5.6%、青葉区の3.2%、若林区の2.6%、太白区の2.5%と続いています。

人口密度が最も高いのは宮城野区で1平方キロメートル当たり3144.7人、最も低いのは青葉区で930.3人となっています。逆に、人口集中地区の人口密度が最も高いのは青葉区で7330.7人、最も低いのは宮城野区で6390.7人となっています。

表15 区別人口及び世帯数

区別	人 口			世帯数	平成12年～17年				面積	人口密度
	総数	男	女		人 口		世 帯 数			
					増加数	増加率	増加数	増加率		
全 市	1,025,098	500,597	524,501	439,579	16,968	1.7	18,397	4.4	783.54	1,308.3
青 葉 区	281,218	135,436	145,782	134,878	3,475	1.3	4,202	3.2	302.28	930.3
宮 城 野 区	182,678	90,033	92,645	79,061	3,898	2.2	4,222	5.6	58.09	3,144.7
若 林 区	129,942	64,161	65,781	55,304	225	0.2	1,410	2.6	48.38	2,685.9
太 白 区	222,447	109,659	112,788	89,944	986	0.4	2,158	2.5	228.21	974.7
泉 区	208,813	101,308	107,505	80,392	8,384	4.2	6,405	8.7	146.58	1,424.6
(人口集中地区)										
全 市	905,139	442,959	462,180	400,917	12,887	1.4	15,641	4.1	130.20	6,951.9
青 葉 区	243,746	117,444	126,302	122,640	4,604	1.9	4,375	3.7	33.25	7,330.7
宮 城 野 区	165,710	81,632	84,078	73,328	2,510	1.5	3,300	4.7	25.93	6,390.7
若 林 区	120,203	59,489	60,714	52,674	798	0.7	1,435	2.8	18.21	6,600.9
太 白 区	204,327	101,014	103,313	83,984	955	0.5	1,908	2.3	28.32	7,214.9
泉 区	171,153	83,380	87,773	68,291	4,020	2.4	4,623	7.3	24.49	6,988.7

図10 各区の人口の推移



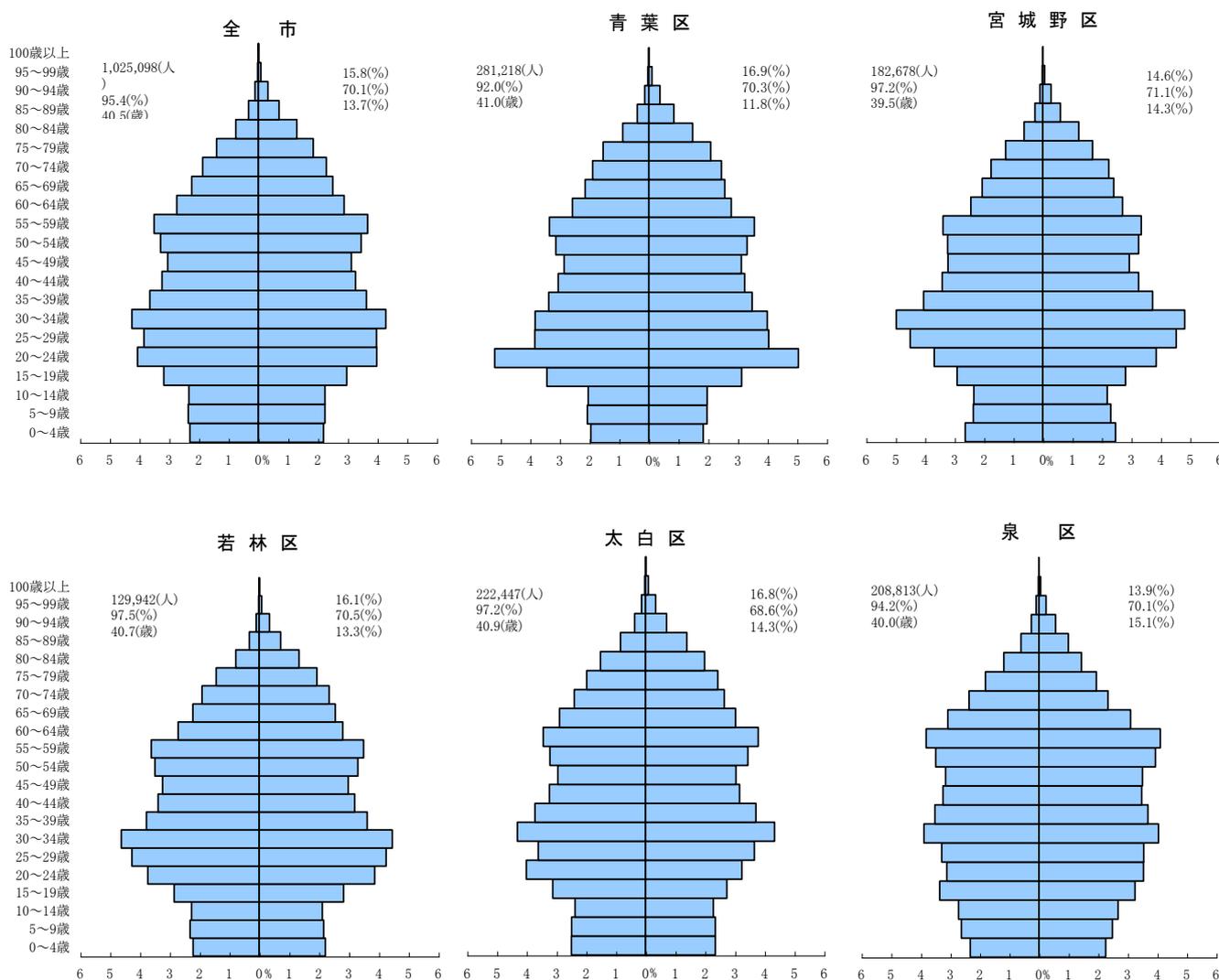
年少人口の割合が高いのは泉区、老年人口の割合が高いのは青葉区

人口の年齢3区分別構成では、15歳未満の年少人口の割合が最も高いのは泉区で15.1%、

最も低いのは青葉区で 11.8%、65 歳以上の老年人口の割合が最も高いのは青葉区で 16.9%、最も低いのは泉区で 13.9%となっています。

各区の人口ピラミッドを比較すると、青葉区では 20～24 歳が大きく張り出し 5 区の中で最も高く、0～4 歳については 5 区の中で最も低くなっています。宮城野区では 30～34 歳が張り出して 5 区の中で最も高く、0～4 歳についても 5 区の中で最も高くなっています。若林区は前回と同様に全市に近い形をしています。太白区は 20～24 歳の男女差が大きくなっています。泉区は他区に上層部（高齢者）で男女差が小さくなっています。また、全体的に上層部が膨らみ高齢化が進行しています。

図 11 区別人口ピラミッド



\* 人口ピラミッドの両肩の数字は、左側が上から総人口、性比、平均年齢、右側が上から老年（65 歳以上）人口、生産年齢（15～64 歳）人口、年少（15 歳未満）人口割合で、各区の総人口に占める割合（%）で表示しています。（総数には年齢不詳が含まれるので構成比の合計は 100%にはなりません）

### 単身世帯、高齢単身者数の割合はともに青葉区が最も高い

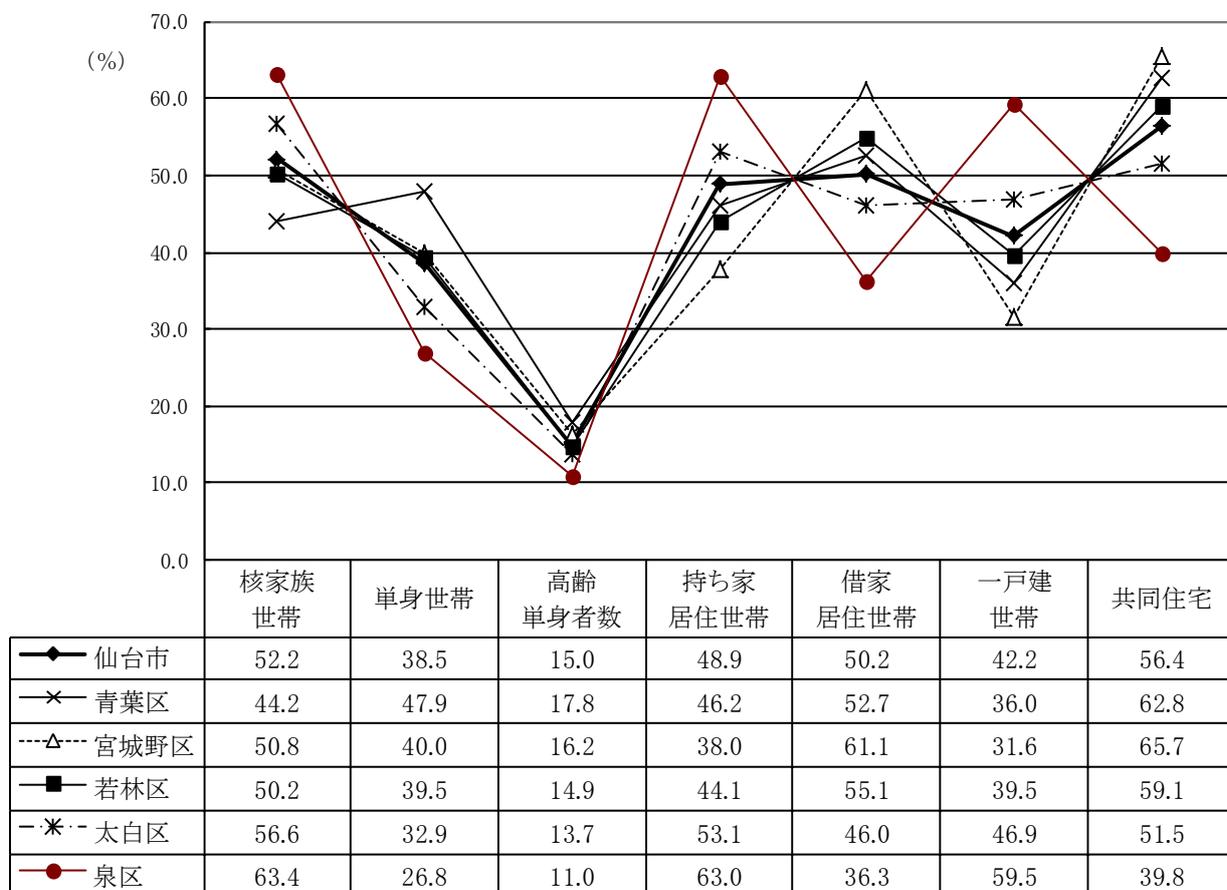
世帯についての主要項目を比較すると、核家族世帯の割合が最も高いのは泉区で 63.4%、

最も低いのは青葉区で 44.2%となっており、単身世帯の割合では逆に青葉区が最も高く 47.9%で、泉区が最も低く 26.8%となっています。65 歳以上人口に占める高齢単身者数の割合は、青葉区が最も高く 17.8%、泉区が最も低く 11.0%となっています。

### 持ち家、一戸建ての割合が高い泉区

住居の関係では、持ち家居住世帯の割合が最も高いのは泉区で 63.0%、最も低いのは宮城野区で 38.0%となり、逆に借家居住世帯の割合は宮城野区が最も高く 61.1%、最も低いのは泉区で 36.3%となっています。また、一戸建ての割合が最も高いのは泉区で 59.5%、最も低いのは宮城野区で 31.6%、共同住宅の割合が最も高いのは宮城野区で 65.7%、最も低いのは泉区で 39.8%となっています。

図 12 各区の世帯に関する主要項目比較



\* 核家族世帯・単身世帯は、一般世帯数に対する割合。高齢単身者数割合は 65 歳以上人口に対する割合。持ち家居住世帯・借家居住世帯・一戸建て世帯・共同住宅世帯割合は、住宅に住む一般世帯数に対する割合。

## 10 主要指標の宮城県及び全国との比較

平成 17 年国勢調査の本市の結果を宮城県及び全国と比較すると次のような特徴がみられます。

- (1) 本市の人口増加率は1.7%で、全国平均の0.7%を上回っています。宮城県全体では、富谷町15.8%増、利府町8.1%増、岩沼市6.1%増など6市6町が増加したものの、7市24町1村で減少し県全体で0.2%の減少となりました。
- (2) 年齢3区分別人口構成をみると、本市は生産年齢人口の割合が70.1%と高いものの、対前回増減率は全国平均と同様の2.1%減少となっています。また、老年人口の割合15.8%で対前回増減率は2.6%の増加で、全国平均2.8%をやや下回っています。
- (3) 未婚率については、男が35.5と全国平均31.4を4.1%上回り、年齢別にみると人口の多い20～24歳は94.7%で全国の93.4%よりも1.3%高く、反対に25～29歳では70.4%と全国の71.4%よりも1.0%低く、30～34歳では46.2%で全国の47.1%よりも0.9%低くなっています。一方女については、29.4%と全国平均23.2%を6.3%と大きく上回り、各年齢階級においても全国平均を上回る形になっています。
- (4) 1世帯当たり平均人員は、宮城県全体で2.70人と全国平均2.55人を0.15人上回っていますが、本市においては2.31人と全国平均を0.24人下回っています。
- (5) 65歳以上人口に占める高齢単身世帯人員の割合は、全国平均の15.1人に対し、本市が15.0人、宮城県全体が10.7人といずれも下回っています。

表 16 主要指標の宮城県及び県との比較

( ) 内は平成12年の数値

主要指標		仙台市		宮城県		全国	
総人口	(人)	1,025,098		2,360,218		127,767,994	
人口の対前回増減率	(%)	1.7		△ 0.2		0.7	
人口の年齢別構成	15歳未満 (%)	(14.6)	13.7	(14.9)	13.8	(14.6)	13.7
	15～64歳 (%)	(72.2)	70.1	(67.7)	66.0	(67.9)	65.8
	65歳以上 (%)	(13.2)	15.8	(17.3)	19.9	(17.3)	20.1
年齢別人口の対前回増減率	15歳未満 (%)	△ 0.9		△ 1.1		△ 0.9	
	15～64歳 (%)	△ 2.1		△ 1.7		△ 2.1	
	65歳以上 (%)	2.6		2.6		2.8	
平均年齢	(歳)	(38.4)	40.5	(40.8)	42.8	(41.4)	13.3
未婚率	男 (%)	35.5		31.9		31.4	
	女 (%)	29.5		23.8		23.2	
20～24歳	男 (%)	94.7		92.2		93.4	
	女 (%)	91.3		87.3		88.7	
25～29歳	男 (%)	70.4		67.4		71.4	
	女 (%)	61.8		56.6		59.0	
30～34歳	男 (%)	46.2		45.1		47.1	
	女 (%)	35.4		31.3		32.0	
一般世帯の1世帯当たり人員	(人)	(2.36)	2.31	(2.80)	2.70	(2.67)	2.55
単身世帯人員の	(%)	16.3		10.6		11.3	
総人口に占める割合	(%)	15.0		10.7		15.1	
65歳以上人口に占める	(%)	15.0		10.7		15.1	
高齢単身世帯人員の割合	(%)	15.0		10.7		15.1	

## 11 他の大都市との比較

全国の15大都市（政令指定都市及び東京都区部）における主要指標を比較すると本市には次の

ような特徴がみられます。

- (1) 人口の対前回増減率は、広島市に次いで 1.7%増の 11 位となっています。(前回は 3.8%増の 4 位)
- (2) 人口の年齢3区分別構成をみると、本市の年少人口の割合は 13.7%で大阪市に次いで4位、生産年齢人口は 70.1%で、川崎市、福岡市に次いで 3 位となっています。また老年人口は 15.8%で、千葉市、さいたま市に次いで 13 位と低くなっています。
- (3) 人口密度は1平方キロメートル当たり 1308.3 人で、札幌市に次いで 13 位となっています。
- (4) 総人口に占める外国人の割合は 0.6%で、札幌市に次いで低くなっています。
- (5) 一般世帯に占める単独世帯の割合は 38.5%で、川崎市に次いで 6 位となっています。
- (6) 65歳以上人口に占める高齢単身者の割合は 15.0%で、千葉市に次いで 13 位となっており、高齢親族のいる一般世帯数に占める高齢夫婦世帯の割合は 27.2%で、京都市に次いで 10 位となっています。
- (7) 住宅に住む一般世帯数についてみると、持ち家居住割合は 48.9%で、広島市に次いで 9 位となっており、また借家居住割合は 53.5%で、名古屋市に次いで 6 位となっています。1 世帯当たり延べ面積は 78.8 m<sup>2</sup>で、千葉市に次いで 6 位となっています。

表 17 主要指標の

主要指標		仙台市	札幌市	さいたま市	千葉市	東京都区部	川崎市	
世帯数	(世帯)	439,579	837,367	460,457	373,766	4,146,481	595,513	
総人口	(人)	1,025,098	1,880,863	1,176,314	924,319	8,489,653	1,327,011	
人口の対前回増減率	(%)	1.7	3.2	3.8	4.2	4.4	6.2	
人口の性比	(女=100)	95.4	89.6	101.0	100.3	98.4	107.4	
人口の年齢別構成	15歳未満	(%)	13.7	12.4	14.5	13.8	10.6	13.1
	15～64歳	(%)	70.1	70.1	69.3	69.2	69.3	72.2
	65歳以上	(%)	15.8	17.3	15.9	16.5	18.5	14.6
平均年齢	(歳)	40.5	42.3	41.2	41.7	43.2	40.3	
人口密度	(人/km <sup>2</sup> )	1,308.3	1,677.7	5,408.6	3,397.2	13,663.2	9,299.3	
外国人割合	(%)	0.6	0.3	1.0	1.5	2.3	1.4	
一般世帯	平均世帯人員	(人)	2.31	2.21	2.54	2.45	2.05	2.21
	単独世帯割合	(%)	38.5	37.1	27.7	29.0	45.4	39.6
	65歳以上人口に占める高齢単身者の割合	(%)	15.0	18.9	14.3	15.4	23.7	16.9
	高齢親族のいる一般世帯数に占める高齢夫婦世帯割合	(%)	27.2	32.3	28.3	31.1	25.3	28.5
世帯のうち住宅に住む	持ち家割合	(%)	48.9	48.1	61.0	59.0	45.8	45.2
	借家割合	(%)	50.2	50.1	37.6	40.2	52.4	53.3
	1世帯当たり延べ面積	(m <sup>2</sup> )	78.8	76.4	80.0	79.2	61.5	61.7

図 13 15 大都市の人口増加率の推移



## 15 大都市の比較

横浜市	静岡市	名古屋市	京都市	大阪市	神戸市	広島市	北九州市	福岡市	全国
1,478,107	264,073	955,851	653,860	1,245,012	639,480	477,664	412,247	632,653	49,566,305
3,579,628	700,886	2,215,062	1,474,811	2,628,811	1,525,393	1,154,391	993,525	1,401,279	127,767,994
4.5	△ 0.8	2.0	0.0	1.2	2.1	1.8	△ 1.8	4.5	0.7
101.6	94.8	98.6	91.1	94.9	90.4	94.0	88.6	92.4	95.3
13.5	13.4	13.2	12.0	12.0	13.1	14.7	13.3	13.4	13.7
68.7	65.6	67.4	67.2	66.6	66.6	67.6	64.4	70.2	65.8
16.9	21.0	18.4	19.9	20.1	20.0	16.9	22.2	15.2	20.1
41.9	44.1	42.4	43.0	43.6	43.4	41.6	44.5	40.3	43.3
8,184.3	510.1	6,785.3	1,781.4	11,835.6	2,763.3	1,275.6	2,037.3	4,114.1	342.7
1.4	0.8	2.1	2.4	3.8	2.4	1.0	1.0	1.2	1.2
2.42	2.62	2.31	2.24	2.12	2.34	2.35	2.35	2.15	2.55
30.2	27.4	36.6	39.9	42.7	33.2	33.7	32.1	43.9	29.5
16.2	12.5	19.5	20.7	27.3	23.0	19.7	20.6	21.3	15.1
30.3	23.4	28.4	26.7	25.2	29.6	31.0	29.3	26.5	26.1
59.3	60.4	47.5	54.4	41.8	57.2	52.9	53.1	38.4	62.1
39.4	38.7	51.7	44.3	57.3	41.8	46.0	46.1	60.5	36.8
73.9	89.7	77.2	72.1	59.3	76.0	80.2	79.3	67.6	91.8